

令和 8 年 5 月 15 日

「令和 8 年度 京浜臨海部立地企業動向調査」業務委託に係る質問及び回答

	質問	回答
1	仕様書 4（2）ア報告書 について 想定されるボリューム（概算ページ数）をご教 示ください。	本動向調査の目的は、京浜臨海部における動向調査や課題抽出を行うことにあります。仕様書上では、以下の内容を調査・報告することを求めています。 ・アンケート調査：京浜臨海部全体、横浜市・川崎市別の項目単純集計や業種別のクロス集計等、加工し多面的な集計を行うこと。 ※調査項数が増えているため、報告書のページ数も増加する可能性があります。 ・文献調査：京浜臨海部の現状を把握するために必要な情報を調査すること。 ・ヒアリング調査：協議会が実施し、15 頁程度にまとめる予定です。 報告書の具体的なページ数については、協議会から厳密に指定するものではなく、調査内容や分析の深度によって変動するため、明確なページ数をお示しすることは難しいですが、目的を十分に達成できる内容とするようお願いいたします。 なお、ご参考までに、前回の報告書は約 250 ページでした。前回（令和 5 年 2 月）報告書は以下の URL よりご覧いただけます。 https://www.keihin.ne.jp/pdf/r0502_zentai.pdf 今回の調査ではアンケート項目が 15 問程度増加する見込みのため、報告書のボリュームとしては、前回の報告書を上回る可能性が高いと考えられます。業務の見積もりにあたっては、こうした点を考慮いただければ幸いです。